

【第5学年国語】

理由を記述する「組み立て表」の活用で、説得力のある意見文を書く

1 指導計画

- 1 時間目 資料を読み取り、双方の意見によさと問題点があることをとらえ、意見の述べ方をつかむ。
- 2 時間目 資料を基にして、説得力のある意見文の書き方をとらえ、「組み立て表」を作る。
- 3 時間目 立場とその理由を明確にした意見文を書き、交流する。

2 指導のポイント

この問題は、図書に関するアンケート結果や図書委員会の話し合いの様子を基にして、図書委員会の新たな取組として、「読書マラソンカード」に取り組むか、「ブックトーク」に取り組むか、どちらかの立場に立って説得力のある意見文を書くものである。ここでは、本文と資料を関係付けて読み取る力、資料や体験・予想を基に理由や立場を明確にして記述する力、段落の役割を理解して意見文を構成する力などが必要となる。

そこで、これらの力を付けるために、次の三つの段階を踏みながら指導に当たる。

1 時間目

まず、資料を読み取る。アンケート結果と話し合いの様子を合わせながら、双方のよさと問題点をつかむ。次に、発言者の立場や考えをはっきりと表している文や言葉に着目して、発言者の立場とその理由をとらえる。最後に、意見の述べ方をつかむ。

2 時間目

双方の問題点はどのような方法で解決できるか考える。自分の体験や予想、問題点の解決策を述べることで説得力を高めることにつながることを確認した上で、「組み立て表」を作成する。「組み立て表」では、自分の立場を決めた後、「自分の体験または予想」「問題点とその解決策」の2つの観点から立場を裏付ける理由を書き出す。

3 時間目

「組み立て表」を用いて意見文を書く。書き終えたら仲間と読み合い、文の型や表現方法に着目して相互評価し、説得力のある意見文の書き方を確認する。

3 各時間の指導計画

(1) 資料を読み取り、双方によさと問題点とがあることを確認し、意見の述べ方を学ぶ

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p>問題の設定を確認する</p> <p>T 図書委員会は、どうして、新たな活動案を考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全校のみんなに、もっと本を読んでもらいたいと考えたからです。・ アンケートを取ったら、今年の活動の問題点が見えてきたからです。 <p>資料を読み取る</p> <p>T 資料1～4からどんなことが分かるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 資料1からは、昨年、図書委員会がいろいろな活動をしていたことが分	<ul style="list-style-type: none">・ 資料の読み方や見方を確認する。実態に合わせ、項目や数値の読み方を指導する。

かります。資料2～4を見ると、詳しく分かります。

- ・ 資料2は、昨年、100冊以上本を借りた人数を示しています。
- ・ 資料3を見ると、1・2年生は絵本が好きで、5・6年生は歴史伝記が好きなことが分かります。
- ・ 資料4には、図書委員会の取組のよさと問題点が書いてあります。

話し合いの様子を読み取る

T 新しい取組について、それぞれのよさと問題点を確認しましょう。

- ・ 「読書マラソンカード」は目標がはっきりするので読書をしようとする人が増えるかもしれないけど、ページ数が増えていくと合計を計算できなくなるかもしれません。
- ・ 「ブックトーク」は、いろいろな本を合わせて紹介できるけど、図書室に来てもらわなければいけません。

話し合いの様子を資料を基に、意見の述べ方をつかむ

T 資料1～4を基にした話し合い資料から、話し合う人たちそれぞれの意見とその根拠を読み取りましょう。

赤木さん	冬川さん	秋本さん	白石さん	香山さん	黒井さん	赤木さん	青野さん	香山さん	夏目さん	明会
ページの数は、本の最後のページ数までよにすればいいか、と悩んでいます。また、図書に置くカードを持って行くか、と悩んでいます。合計の計算は図書室に集まるか、図書委員が手伝ったりすれば、一、二年生で計算できるのではないのでしょうか。	ぼくは「読書マラソンカード」に賛成です。本を読んだら、ページを数えなければなりません。カードを持っていく必要もあります。それに、ページ数を数えていくと合計を計算できなくなるのではないのでしょうか。	ぼくは「読書マラソンカード」に賛成です。それは、いろいろな種類の本を合わせてよいか、と悩んでいます。例えば、「資料3」を見て、ほかの学年と比べて「A」は「1・2年生」が好きで、多く「B」は「5・6年生」が好きで多いのが分かります。学年や人によって好みのお種類があります。いろいろな種類の本を合わせてよければ、もっと多くの人に興味をもってもらえます。	ぼくは「読書マラソンカード」に賛成です。ぼくは体育の時間にマラソンカードに何冊読んだか記録するのと、目標にむかってがんばることができたという体験があります。これは、目標がはっきりしている活動なので、競争しようという気持ちになると思います。	ブックトークでは、重ならないようにいろいろな本を用意するよにします。また、希望には、その本の貸し出し予約ができればいいと思います。また、ブックトークは図書室にはない場所でもできます。図書委員が手分けをして、いろいろなところでブックトークをすれば、図書室に来ない人にもよいかいできると思います。	ブックトークに反対です。「資料4」で見たような意見があったように、ブックトークで本をよいかいしても、図書室には一冊くらいしかないのよ、よに借りることができません。それに、図書室に来ない人には、せっかくブックトークをしてもよいかいはいけません。	賞状をもらえなかったという声があります。この活動手帳は、賞状をもらえない人も、賞状をきっかけに、本を読むよにきょうみをもつてもらえます。	わたしは赤木さんの「読書マラソンカード」に賛成です。「資料4」のよに、曜日本を読んだり、本を借りに行かなかったりして、百冊借りることがよい人います。ページ数を数える活動は、そのよに大たち参加できる取組だと思います。	昨年をよ思い出してよ、読み聞かせをよしている人がたくさんいたよに思います。ブックトークは、読み聞かせのよに、図書委員が話をつたえるよがあります。もし、本のページを見せながら話し方をよすれば、きつ多くの人がその本のおもしろさをよ分かってよくれると思います。	みなさんは、赤木さんの案と香山さんの案のどちらがよいと思いますか。 ぼくは香山さんのブックトークに賛成です。ぼくは前に友達によいかいしてよらった本をよんでみたら、よともよもしろかったよという体験があります。それに「資料4」の意見があるよに、けいじ板ではよかたよくわしいよいかいも、本を見せながらよるのでよいと思います。	

- ・ 夏目さんは、資料4の④にある意見を用いて、「ブックトーク」に賛成しています。
- ・ 青野さんは、資料4の②にある意見を用いて、「読書マラソンカード」に賛成しています。
- ・ 黒井さんは、資料4の③にある意見を用いて、「ブックトーク」に反対しています。

T 発言の仕方によいと思うところを発表しましょう。

- ・ 自分の立場を言ってから理由を言っているところがよいと思います。
- ・ 意見が資料と結び付いているので、分かりやすいです。
- ・ それぞれの案には、いいところもあるけど問題点もあります。
- ・ 白石さんはマラソンカードの体験を述べているので説得力があります。

- ・ 資料1と資料2～4とを関係付けて考えられるよに指導する。

□双方とも賛成の理由と問題点があるよに分かる。

- ・ 黒板に資料を拡大して提示し、児童と一緒に確認しながらサイドラインを引くよことで、話し手の意見と理由や根拠をよしく読み取れるよにする。

- ・ 読み取りが難しい場合には、サイドラインを色分けするなどし、それぞれの意見の根拠がどこにあるか、意見と根拠となる資料を一対一対応で探したり、結び付けたりする活動を取り入れるよよい。

- ・ それぞれの案には、よさもがあるが、問題点もあるよを確認する。

□立場の表明⇒理由の流れで発言しているよに分かる。

(2) 話し合い資料を基にして、説得力のある意見の書き方をとらえ、「組み立て表」を書く

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価												
<p>それぞれの問題点と解決策を、資料や話し合いの様子を基に考える。</p> <p>T どちらの案に賛成するか、自分の立場を決めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、「読書マラソンカード」に賛成する立場で考えよう。 <p>T 問題点はどのような方法で解決できるか、話し合いましょう。</p> <p style="text-align: center;">＜「読書マラソンカード」の問題点と解決策＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・本を読むたびにページを記録しなければならない。 ⇒本の最後のページ数を書くようにすれば、それほど難しくない。 ・本を借りるたびにカードをもっていかなければならない。 ⇒図書館にカードを置いておけばよい。 ・ページが増えていくと合計を計算できなくなる。 ⇒図書室に電卓を置いたり、図書委員が手伝ったりすればいい。 </div> <p style="text-align: center;">＜「ブックトーク」の問題点と解決策＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックトークで紹介された本は、すぐに借りられない。 ⇒本の貸し出し予約ができるようにすればよい。 ・図書室に人が来なければ、本を紹介することができない。 ⇒図書委員が手分けをして、教室などで「ブックトーク」をすればよい。 </div> <p>提示された構成を基に、「組み立て表」を作成する。</p> <p>T 「始め—中—終わり」の三部構成の文章を書きます。「中」の部分にどのように理由を書くと説得力が増すかを考えて、組み立て表を書きましょう。</p> <p>＜条件＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「始め」に、自分が賛成する案について書く。 ② 「中」の一つ目に、自分が選んだ案に賛成する理由の一つ書くこと。理由には、自分自身の体験、または賛成する案を実行したらどうなるかの予想を加えて説明する。 ③ 「中」の二つ目に、自分が賛成する案の問題点と、それについての解決策や自分の考えを書く。 ④ 「終わり」には、賛成した案を選ぶとどんなことが達成されると思うか、ねらいとつなげて書く。 	<p>・資料を参考にして自分なりの考えを出すようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜話し合いのまとめ＞</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:33%;">ブックトーク</th> <th style="width:33%;">読書マラソンカード</th> <th style="width:33%;">ねらい</th> </tr> <tr> <td style="font-size: small;"> ・本をおもしろさがつたわる。かいていける。 </td> <td style="font-size: small;"> ・本を見せながら楽しくしようかいていける。 </td> <td style="font-size: small;"> ・全校のみんなにたくさん本をよんでもらおう </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;"> ・ブックトークでしようかいていける本は、すぐには借りることができない。 </td> <td style="font-size: small;"> ・活動のよい点 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;"> ・図書室に来なければ本をしようかいていける。 </td> <td style="font-size: small;"> ・活動の問題点 </td> </tr> </table> </div> <p>・考える時間、書く時間を保障する。</p> <p>・前時の学習をふり返り、説得力のある意見の書き方（体験や予想を入れる、論じ返しをする）を確認する。</p> <p>・話し合い資料に出てきた理由も参考にさせ、関係付けて構成してもよいこととする。</p> <p>□ 意見や理由の述べ方をとらえることができたか。</p>	ブックトーク	読書マラソンカード	ねらい	・本をおもしろさがつたわる。かいていける。	・本を見せながら楽しくしようかいていける。	・全校のみんなにたくさん本をよんでもらおう	・ブックトークでしようかいていける本は、すぐには借りることができない。		・活動のよい点	・図書室に来なければ本をしようかいていける。		・活動の問題点
ブックトーク	読書マラソンカード	ねらい											
・本をおもしろさがつたわる。かいていける。	・本を見せながら楽しくしようかいていける。	・全校のみんなにたくさん本をよんでもらおう											
・ブックトークでしようかいていける本は、すぐには借りることができない。		・活動のよい点											
・図書室に来なければ本をしようかいていける。		・活動の問題点											
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:33%;">終わり</th> <th style="width:33%;">中</th> <th style="width:33%;">始め</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> ④ 「始め」と「中」をまとめて再度の立場の表明 このような理由から、… </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> ③ 理由 ・問題点と解決策（論じ返し） たしかに、… しかし、… </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> ② 理由 ・自分の体験または予想 理由は、… わたしは前に… </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> ① 立場の表明 わたしは、… </td> </tr> </table>	終わり	中	始め	④ 「始め」と「中」をまとめて再度の立場の表明 このような理由から、…	③ 理由 ・問題点と解決策（論じ返し） たしかに、… しかし、…	② 理由 ・自分の体験または予想 理由は、… わたしは前に…	① 立場の表明 わたしは、…			【組み立て表】			
終わり	中	始め											
④ 「始め」と「中」をまとめて再度の立場の表明 このような理由から、…	③ 理由 ・問題点と解決策（論じ返し） たしかに、… しかし、…	② 理由 ・自分の体験または予想 理由は、… わたしは前に…											
① 立場の表明 わたしは、…													

(3) 立場とその理由を明確にした意見文を書き、交流する

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p>「組み立て表」を用いて意見文を書く。</p> <p>T 「組み立て表」を使って、説得力のある意見文を書きましょう。どのように書くといいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「組み立て表」に文章を肉付けしていくといいです。 つなぎ言葉をつかって段落をつなげていくといいです。 原稿用紙の全体を見て、「始め—中—終わり」がどのくらいの場所に来るのか、目安をもってから書くといいです。 <p>互いに意見文を読み合って、感想を交流する。</p> <p>T 友達同士で文章を読み合い、交流しましょう。どのような視点で意見文を読んだらいいでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 立場がはっきりしているか。その理由に、どのようなことが書いてあるのかを読むといいです。 理由のなかに体験や予想が入っているか、それが説得力を増すような理由になっているかを読むといいです。 賛成する案の問題点と解決策が、どのように書いてあるかを読みます。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>記述例 (体験を加えたマラソンカード案)</p> <p>① わたしは、読書マラソンカードを使って記録する案に賛成です。 ② 理由は、読んだページ数がどんどんふえて ③ いくので、自分がどのくらい読んだかが分か ④ るからです。わたしもマラソン大会の練習の ⑤ 時にカードを使いました。自分がどのくらい ⑥ 走ったか分かるのががんばろうと思いまし ⑦ た。もし読書マラソンカードを使えば、マラ ⑧ ソンの時と同じように、きつと多くの人が進 ⑨ んで本を読むと思いました。 ⑩ たしかに、読書マラソンカードは、合計の ⑪ 数を計算しなければならぬという問題点が ⑫ あります。しかし、電卓を使ったり、図書委 ⑬ 員が手伝ったりすれば、計算が苦手な人でも、 ⑭ 合計を出すことができます。 ⑮ このような理由から、読書マラソンカード ⑯ を使うようにすると、自分が読んだページ数 ⑰ が目に見えて分かるようになります。 ⑱ そうすることで、どんどん本を読みたくなり、 ⑳ 貸し出し数もふえていくと思います。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>記述例 (予想を加えたブックトーク案)</p> <p>① ぼくは、ブックトークで本をしようかい ② る案に賛成します。 ③ 理由は、いろいろな種類の本をしようかい ④ することで、たくさんの人が本を読んだり、 ⑤ 借りたりしたくなると思うからです。ブック ⑥ トークでは、それぞれの学年で人気の少ない ⑦ 歴史伝記といった種類もしようかいできま ⑧ す。ブックトークをすれば、そうした人気の ⑨ 少ない種類の本も読みたいと思うはずで ⑩ す。そして、たくさんの人が本を借りるようにな ⑪ るでしょう。 ⑫ たしかにブックトークは、図書室に来た人 ⑬ にしかしようかいすることができません。し ⑭ かし、日を決めて、それぞれの学年の教室で ⑮ ブックトークをすればよいと思います。そう ⑯ すれば、図書室に行かない人にも、本をしよう ⑰ かいすることができます。 ⑱ このように、ブックトークをすると、しよ ⑳ うかいされた本を読んでみたいという人がふ ㉑ えると思います。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 理由に問題点の解決方法が詳しく書いてあって、説得力がありました。 ぼくの「終わり」は「始め」の繰り返しになっているから、「始め」と「中」のまとめを入れてもう一度自分の考えを書きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 340字以上書くこととする。 書き始める前には、組立表と原稿用紙を見比べ、原稿用紙を使う見通しをもたせる。何行ぐらいでそれぞれ書けばよいかを考えさせる。 書くことが苦手な児童には、各段落の書き出しを示す。 <p>□ 立場と理由を明確にし、条件を満たした意見文を書くことができたか。</p> <p>□ 理由の書き方に着目して、互いの意見文を読み合うことができたか。</p>